

ダイワ・ブラジル・レアル債オープン(毎月分配型)

第85期分配金は40円(1万口当たり、税引前)

2015年12月25日

平素は、『ダイワ・ブラジル・レアル債オープン(毎月分配型)』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、2015年12月25日に第85期計算期末を迎え、当期の収益分配金につきまして、40円(1万口当たり、税引前。以下同じ。)と致しましたことをご報告申し上げます。

第85期決算(15/12/25)にかかる分配金を従来の60円から40円に引き下げましたのは、現在の配当等収益および分配対象額の状況、基準価額の水準などを総合的に勘案した結果によるものです。

今後ともファンド運用にあたっては、パフォーマンスの向上をめざしてまいりますので、引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

《基準価額・純資産・分配の推移》

基準日: 2015年12月25日

基準価額	5,216円
純資産総額	553億円

《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

決算期	(年/月/日)	分配金
第1～80期	合計:	9,290円
第81期	(15/8/25)	60円
第82期	(15/9/25)	60円
第83期	(15/10/26)	60円
第84期	(15/11/25)	60円
第85期	(15/12/25)	40円
分配金合計額	設定来:	9,570円
	直近5期:	280円

当初設定日(2008年11月12日)～2015年12月25日



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡する「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

Q1 なぜ、分配金を60円から40円に引き下げたのですか？

A1 現在の配当等収益および分配対象額の状況、基準価額の水準などを考慮した結果、今後も継続した分配を行ない、信託財産の着実な成長をめざすためには、分配金の引き下げが必要との判断に至りました。

弊社の分配金についての考え方は、ファンドの収益分配方針、配当等収益や分配対象額の状況、基準価額の水準、市場環境等を総合的に勘案して分配金額を決定するというものです。

当ファンドの分配金を引き下げましたのは、現在の配当等収益および分配対象額の状況、基準価額の水準などを考慮した結果によるものです。

当ファンドでは第77期決算(15/4/27)において、ブラジル・レアルの為替レート(対円)の下落などにより配当等収益が減少傾向にあったことから、分配金を従来の90円から60円に引き下げました。しかし、それ以降も、ブラジルの経済状況が悪化していることに加え、米国の利上げ観測が高まる中、原油などの資源価格が下落したほか、リスク回避の動きから新興国への投資センチメントが後退したこともあり、ブラジル・レアルの為替レート(対円)は軟調に推移しました。その結果、基準価額が下落するとともに配当等収益も減少しております。(配当等収益の状況はQ2をご覧ください。)

このような状況を踏まえ、今後の継続した分配や信託財産の着実な成長をめざすためには、分配金の引き下げが必要との判断に至りました。今回、分配金を引き下げたことによる差額はファンドの純資産に留保されることとなります。

なお、当ファンドの収益分配方針は、以下のとおりとなっています。

- ◆ 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- ◆ 原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

※ 分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

Q2 配当等収益と分配対象額の状況について教えてください。

期中に得られる配当等収益(経費控除後)は、第85期決算(15/12/25)では41円(1万口当たり)となっています。

下記の表にあるとおり、分配金の一部を期中の配当等収益以外の分配対象額から支払っている状況にありました。この結果、第85期決算(15/12/25)では分配金支払い前の分配対象額は168円(1万口当たり)となっています。

《分配金の計算過程(1万口当たり、税引前)》

(単位:円、1万口当たり・税引前)

		配当等収益		有価証券売買等損益		分配準備 積立金③	収 益 調整金④	分配対象額 (分配金支払い前) ①+②+③+④	分配金	分配金支払い後 基準価額
		経費控除後 配当等収益①	経費控除後 配当等収益①	経費控除後・ 繰越欠損補填後 売買益②	経費控除後・ 繰越欠損補填後 売買益②					
第74期	15/1/26 分配金内訳	66	64	268	0	292	56	411	90	8,128
第75期	15/2/25 分配金内訳	58	49	△ 694	0	264	57	370	90	7,392
第76期	15/3/25 分配金内訳	51	43	△ 687	0	220	60	323	90	6,652
第77期	15/4/27 分配金内訳	61	60	421	0	172	62	293	60	7,066
第78期	15/5/25 分配金内訳	50	42	△ 101	0	171	62	276	60	6,948
第79期	15/6/25 分配金内訳	54	51	116	0	153	63	267	60	7,049
第80期	15/7/27 分配金内訳	52	43	△ 576	0	144	63	250	60	6,456
第81期	15/8/25 分配金内訳	43	36	△ 608	0	126	65	226	60	5,822
第82期	15/9/25 分配金内訳	48	42	△ 630	0	102	65	208	60	5,174
第83期	15/10/26 分配金内訳	50	49	186	0	83	65	197	60	5,344
第84期	15/11/25 分配金内訳	51	50	383	0	72	66	187	60	5,711
第85期	15/12/25 分配金内訳	47	41	△ 493	0	61	66	168	40	5,216

※上記データは過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※円未満は四捨五入しています。下段の数値は、分配金の内訳です。

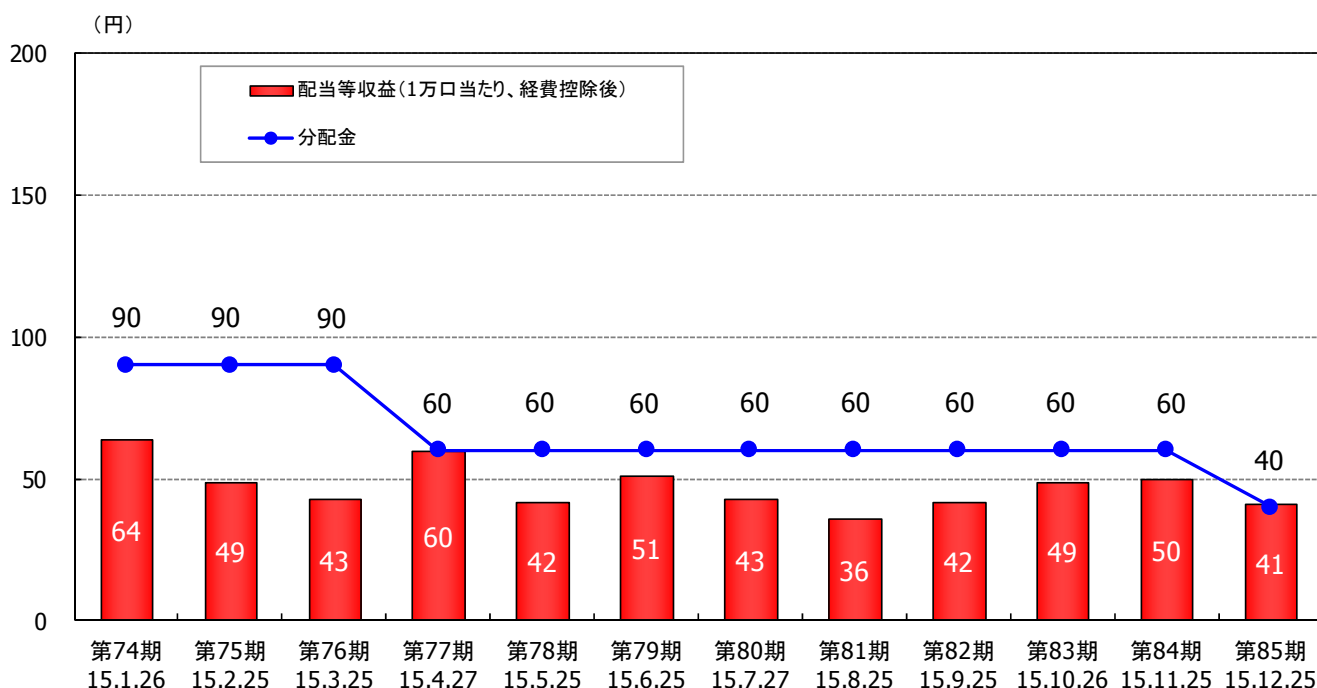
※分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

■分配準備積立金——期中の配当等収益や有価証券売買益などのうち、当期の分配金に充当しなかった部分は、分配準備金として積立れます。分配準備積立金は、次期以降の分配金に充当することができます。

■収益調整金——追加型の投資信託において、追加設定が行なわれることによる既存投資者への分配対象額の希薄化を防ぐために設けられた勘定です。

よくあるご質問 (Q&A集)

配当等収益(1万口当たり、経費控除後)および分配金(1万口当たり、税引前)の状況



※上記のデータは、過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※分配金額は、決算の都度、収益配分方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

Q3 40円分配はどのように決定したのですか？また、40円分配はいつまで続けられる見通しですか？

A3 分配金は、収益配分方針に基づいて、今後数期にわたって継続できるよう配慮して決定しています。ただし、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

当ファンドの収益配分方針において「原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。」と定めています。当該方針に基づいて分配金は、今後数期にわたって継続できるよう配慮して決定しています。ただし、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、現在の分配金の水準を維持できない、あるいは分配金が支払われない場合もあります。特に分配対象額の減少、配当等収益の低下、基準価額の下落などは分配金の引き下げ要因となります。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

Q4 分配金を事前に知ることはできないのですか？

A4 決算日(毎月25日、休業日の場合は翌営業日)の夕方から夜にかけての公表までは、分配金をご確認いただくことはできません。

分配金は事前に決定しているものではなく、ファンドの決算日(毎月25日、休業日の場合は翌営業日)に、ファンドの収益分配方針、配当等収益や分配対象額の状況、基準価額の水準等を勘案して委託会社(大和投資信託)が決定します。したがって、事前にお知らせすることはできません。

夕方から夜にかけて委託会社のホームページ(<http://www.daiwa-am.co.jp/>)で基準価額とともに分配金を公表します。公表までは、分配金をご確認いただくことはできません。

Q5 分配金を引き下げということは、今後の運用に期待できないということですか？

A5 分配金の引き下げは、今後の運用実績とは関係するものではありません。

今回の分配金引き下げについては、現在の配当等収益および分配対象額の状況、基準価額の水準などを考慮した結果によるものです。したがって、分配金の引き下げは今後の運用実績とは関係するものではありません。なお、運用成績は、分配金に加え基準価額の動きも含めたトータルリターン(総収益率)で確認する必要があります。

引き続きブラジル・リアル建てのブラジル国債を組み入れることで、高利回りを享受する債券ポートフォリオを基本に運用を行なってまいります。

⇒最近の運用状況と今後の見通し・運用方針については、Q6をご覧ください。

Q6 最近の運用状況と今後の見通し・運用方針について教えてください。

A6 緊縮財政と金融引き締めは中長期的にはブラジル債券の好材料であり、ブラジル・レアルの信認も高めると期待されます。当ファンドは金利リスクやインフレリスクに留意しながら、債券種別構成を柔軟に調整しつつ、引き続き投資妙味の高いブラジル国債を高位に組み入れて運用します。

【最近の運用状況】

(債券市況)

年初よりブラジル国債は金利が大きく上昇しました。ブラジル中央銀行がインフレ抑制のために継続的に利上げを実施しているほか、政府が税収の落ち込みにより財政目標を引き下げたことや、政府と議会の関係悪化により、財政目標を達成するための十分な増税法案と歳出削減法案の成立が難航していることなどが、財政運営と信用力に対する懸念を高め、金利上昇要因となりました。直近では、レビ財務大臣の辞任や与党の有力政治家の逮捕、大統領の弾劾手続きの開始など、政治的な混乱が財政再建に向けた議会審議を遅延させると懸念されています。

また、格付会社ムーディーズ、スタンダード・アンド・プアーズ、フィッチ・レーティングスがブラジルの格付け(格付け見通し含む)を引き下げました。8月以降は、主要輸出先である中国が人民元の切り下げを行ったことや原油価格の下落などにより新興国への投資センチメントが悪化したことも金利上昇要因となりました。

(為替相場)

ブラジルのファンダメンタルズが悪化する中、大手石油会社の汚職問題や財政健全化策の実行に関して政治的不透明感が高まったことから、年初よりブラジル・レアルは下落しました。また、グローバルな投資環境では、米国の利上げ観測が高まる中、ギリシャの財政問題や中国経済に対する懸念の高まりなどもレアル相場の重しとなりました。原油などの資源価格が下落したほか、リスク回避の動きから新興国への投資センチメントが後退したこともレアルの下落要因となりました。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

よくあるご質問 (Q&A集)

【今後の見通し】

ブラジルでは景気が低迷しているにもかかわらず、政府が財政健全化を目指しているため、積極的な財政政策の発動が困難な状況です。また、インフレ率が高止まりしているため、中央銀行が金融緩和に転じるには今しばらく時間がかかりそうです。財政緊縮と高金利政策は、短期的な経済成長を犠牲にすることになりますが、中長期的にはブラジルが発展するための基盤作りとして必要な政策であり、投資家の信認を維持する重要な取り組みと評価できます。政府は2016年の財政収支目標をGDP(国内総生産)比0.5%と設定し、財政再建を目指しています。

しかしながら景気低迷により税収が不透明なことに加え、大統領と議会の関係は必ずしも良好ではないほか、有力政治家の逮捕や大統領の弾劾手続き開始により議会の審議がまひしており、財政再建法案の進捗の遅れが懸念されます。米国の利上げ開始や中国の景気減速への懸念もあり、ブラジルの金融市場は不透明感が払拭されにくく、短期的に市場が大きく変動する可能性があります。しかし、ブラジル中央銀行は通貨スワップなどによる米ドル売りレアル買い介入を、財務省は国債のバイバック(買い戻し)をそれぞれ必要に応じて実施するなど市場安定化に努めています。

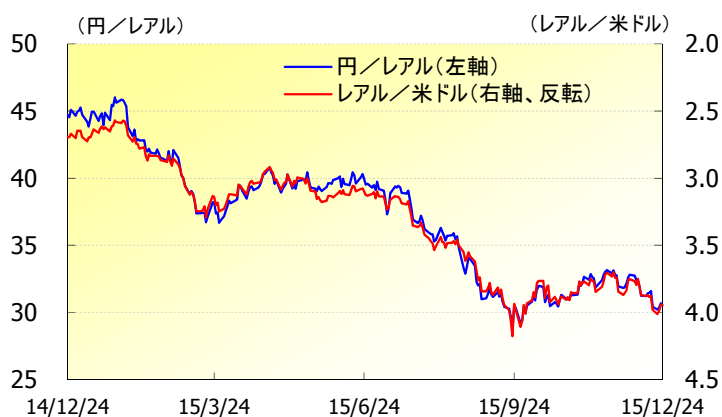
【今後の運用方針】

ブラジル国債の利回りは他の新興国に比べて高水準にあり、長期保有に適した投資対象と考えます。緊縮財政と金融引き締めは中長期的にはブラジル債券の好材料であり、ブラジル・レアルへの信認も高めると期待されます。当ファンドは金利リスクやインフレリスクに留意しながら、債券種別構成を柔軟に調整しつつ、引き続き投資妙味の高いブラジル国債を高位に組み入れて運用します。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

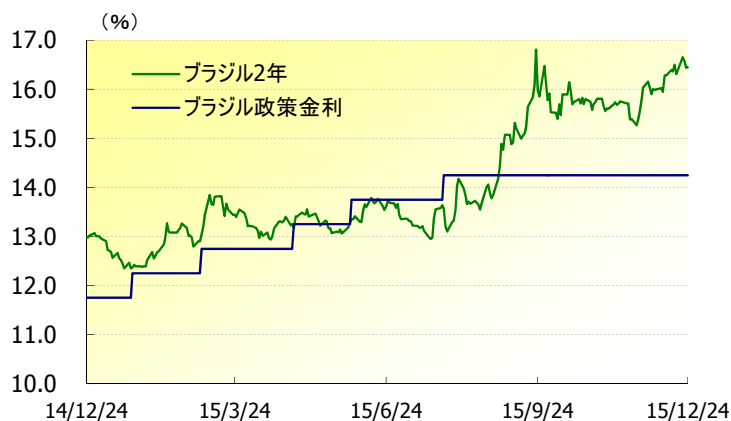
《ご参考》為替の推移

2014年12月24日～2015年12月24日



《ご参考》2年国債利回りと政策金利の推移

2014年12月24日～2015年12月24日



※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所)ブルームバーグ

以上

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

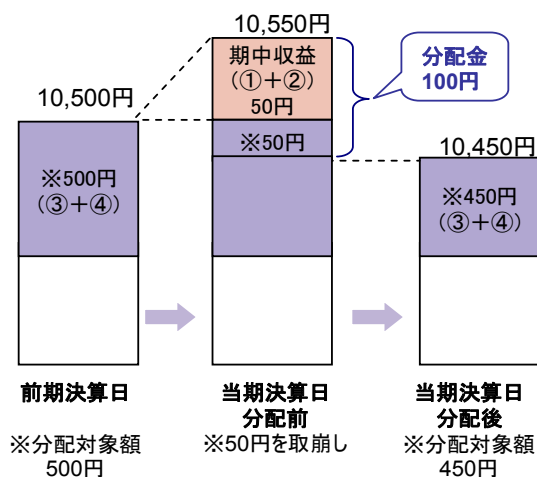
投資信託の純資産

分配金

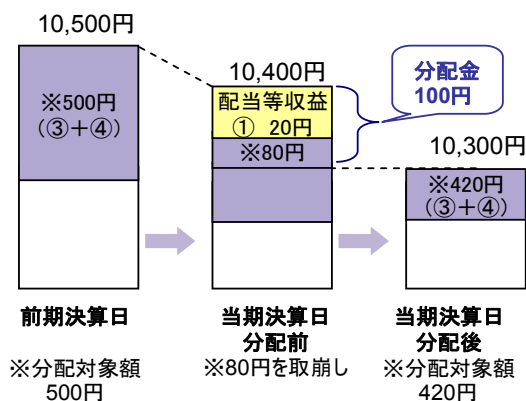
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



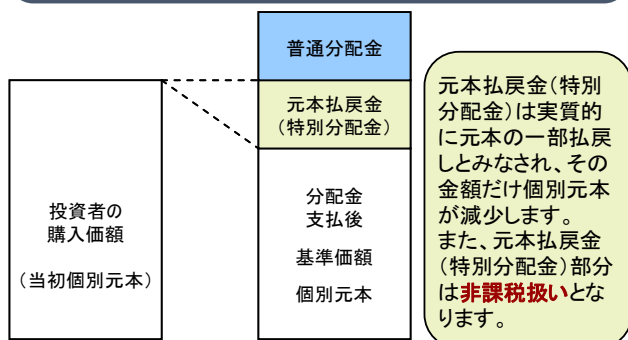
前期決算日から基準価額が下落した場合



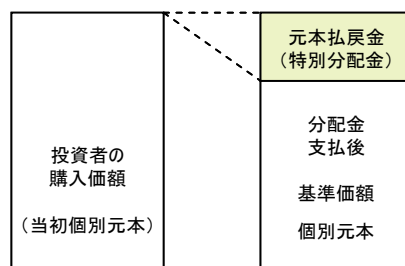
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の（特別分配金）額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

ダイワ・ブラジル・レアル債オープン(毎月分配型)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

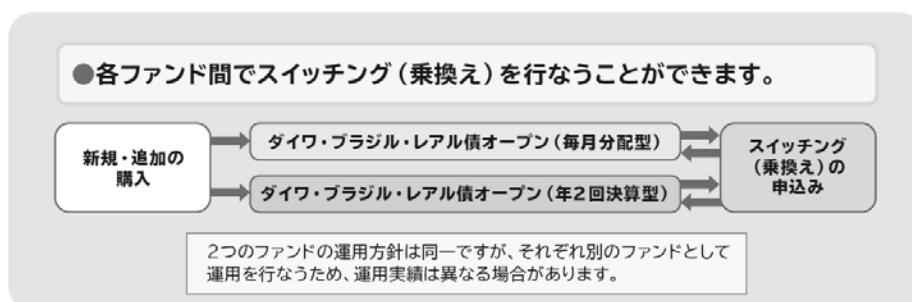
ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- ブラジル・レアル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. ブラジル・レアル建債券に投資します。
 - 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。
 - 固定利付債および割引債の組入比率の合計を、信託財産の純資産総額の50%程度以上とします。
 - 投資する債券は、政府、政府関係機関、国際機関等が発行するものとします。
 - ブラジル・レアル建債券の運用については、イタウ・ウニバンコ銀行の運用部門であるイタウ・アセットマネジメントの助言を受けます。
2. ダイワ・ブラジル・レアル債オープン(毎月分配型)とダイワ・ブラジル・レアル債オープン(年2回決算型)の2つのファンドがあります。



3. 毎月25日(休業日の場合翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
 4. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - マザーファンドは、「ダイワ・ブラジル・レアル債マザーファンド」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

ダイワ・ブラジル・レアル債オープン(毎月分配型)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク、税制に伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限)3.24%(税抜3.0%) スイッチング(乗換え)による購入時の申込手数料については、販売会社にお問合わせください。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.4472% (税抜 1.34%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※ブラジル国内債券投資に伴い、ブラジル・レアルを取得する為替取引に対しては金融取引税が課されます。なお、平成27年4月末日現在、税率は0%です。ブラジルにおける当該関係法令等が改正された場合には、前記の取扱いが変更されることがあります。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」に記載しています。

販売会社:

大和証券
Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託
Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会